

## アメツチがゲーム業界のクリエイター陣を迎え、話題のミニチュアボードゲーム『ドラゴンギアス』のビジュアル朗読劇を4月に公演！

マルチモーダル演劇プロジェクトアメツチが2021年4月7日から4月11日に第2回公演『朗読劇 ドラゴンギアス Another～再生のための物語～』を渋谷区伝承ホールにて公演することが決定した。ボードゲームを原作とした作品で、イシイジロウ、西村キヌ、坂本英城などゲーム業界を中心に活躍するクリエイターが集結した。

### 原作はクラウドファンディングで話題となったミニチュアボードゲーム

原作は『428～封鎖された渋谷で～』『文豪とアルケミスト』『新サクラ大戦』などで知られるイシイジロウ氏。『ドラゴンギアス』はドラゴンに対抗するため巨大ロボットと魔女や騎士団が躍動するマックスファクトリーとアークライトのタッグによるミニチュアボードゲームで、多数の著名クリエイターが参加。クラウドファンディングで総額15,383,000円を集めるなど大成功を収めて話題になった。マックスファクトリー、アークライトから2021年2月27日に発売される。



『朗読劇 ドラゴンギアス Another～再生のための物語～』は原作の世界観を元にした同じ世界の別の国の物語。原作・イシイジロウの監修の元、アメツチの山田英真の脚本によるオリジナルストーリーで展開する。騎士団の7人の友情と共に主人公エリックと魔女であるレナが運命に抗う様が描かれる。キービジュアルは『ストリートファイター』シリーズ『Gのレコンギスタ』などを手がける西村キヌ氏、音楽は

『大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL』のメインテーマや『三国志14』などの坂本英城氏など、ゲーム業界を中心に活躍するクリエイター陣が作品を彩る。

また、ビジュアル朗読劇と銘打っている通り、本作はホログラム映像を使った全編に渡る映像演出が展開される。映像は多数のイベントや海外映画祭での実績を持つメンバーが在籍し、VRやホログラムなど最新映像技術を得意とするクリエイターラボ・GAKUYAが制作。

本作品用に新たにデザインされる荘厳な衣装と共にビジュアル面を強化し、朗読劇が掻き立てる想像力とビジュアルが生み出す演出の相互作用を狙っている。

公演は渋谷区の伝承ホールで2021年4月7日（水）～11日（日）で行われる。生配信も予定されている。

キャストは近日中に順次発表予定。

原作・世界観監修 イシイジロウ

ビデオゲームデザイナー 原作・脚本家。広告業界を経てゲーム業界に転職。チュンソフト、レベルファイブにおいて、おもにアドベンチャーゲームのシナリオ・監督・プロデュース、ディレクションを務めたのち、2014年に独立。代表作は『428 ～封鎖された渋谷で～』『文豪とアルケミスト』『新サクラ大戦』『極限脱出9時間9人9の扉』など。

キービジュアル 西村キヌ

1991年カプコン入社。ストリートファイターシリーズのイラストなどを手掛ける。2008年よりフリーに。アニメ『オーバーマン キングゲイナー』『Gのレコンギスタ』『天狼 sirius the jaeger』 舞台『龍よ、狼と踊れ』 ゲーム『極限脱出シリーズ』など。

音楽 坂本英城

(株)ノイジークロック 代表取締役社長 作曲家。『大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL』のメインテーマや『三国志14』 『勇者のくせになまいきだ。』シリーズ他、多数ゲーム音楽や『殺戮の天使』 『文豪とアルケミスト』などのアニメ音楽も制作している。

ドラゴンギアス 公式HP <https://www.dragongyas.com/>

ドラゴンギアス ©イシイジロウ／MAX FACTORY・Arclight